

R7年度【中学校】後期 教育活動のふりかえり

令和7年度の教育活動は、教育目標を『自他を尊重し、自律する生徒』として、行ってきました。12月に生徒及び保護者の皆様から回答いただきましたアンケート結果と今後、学校として取り組むことについて、お知らせします。

	項目 (※数値は肯定的評価の割合)	生徒 後期	生徒 前期	保護者 後期	保護者 前期
①	学校やクラスでの生活が楽しい、学校に行くのを楽しみにしている	89	100	83	87
②	授業がよく分かる、学校の授業について満足している	81	88	83	90
③	家庭学習に計画的に取り組み、授業に臨む準備を心がけている	62	68	57	50
④	学校で学ぶことで自身の成長を感じたり、将来に役立つと思ったりする	95	94	80	87
⑤	誰に対してもあいさつをしている	95	94	83	80
⑥	相手の気持ちを考え、優しい言動を心がけている	100	100	100	97
⑦	どんな理由があっても、いじめや差別を許さないと考えている	97	100	100	100
⑧	特別活動(係活動・生徒会活動・学校行事、部活動や地域クラブでの活動)に「やりがいがある、達成感がある」	92	97	90	93
⑨	メディアに接する時間を気につけ、規則正しい生活を心がけている	57	50	33	27
⑩	運動したり体を動かしたりすることが好きな方だ	68	71	63	67
⑪	生活改善チャレンジ週間において、自分で決めた取組を意識して生活できた	81	85	63	60
⑫	学校は丁寧に情報を発信するとともに、保護者や地域の声に耳を傾けている			100	93
⑬	学校は生徒一人一人を大切にして、教育活動を行っていると思う			97	97

【学・知育】

引き続き、職員研修、授業改善を重ね、「学びに向かう姿勢」を育む支援に努めてまいります。今年度は職員研修のテーマを「考えたことを自分のことばで伝え合い、学びを深める対話あふれる授業づくり」とし、授業づくりに取り組んできました。家庭学習における数値<項目③>に課題があり、取組状況においても、個人差があるように感じております。一人一人の興味・関心を生かし、家庭学習と授業との接続を工夫したり、「ドリルパーク」等学習用端末を積極的に活用したりすることで、学校でも家庭でも主体的に学ぶことができるよう支援してまいります。生徒一人一人の「できるようになりたい!」「もっと学びたい!」<項目②・④>という気持ちを引き出せるよう、以下の3つの視点で授業づくりからも「家庭学習に対するアプローチ」を続けていきたいと考えています。保護者の皆様方からもお子さんへの温かな声掛けや取組状況の確認等、ご支援とご協力をお願いします。

<回答率>

生徒 後期 90% (前期 81%)
保護者 後期 80% (前期 80%)

(1) 「自ら学ぶ授業」づくり

- ・「一人一人に適した多様な学び」と「協働的な学び」を実現する授業づくり
- ・学習用端末を積極的に活用し、自主的な学習への取組を推奨
- ・自分のペースを大切にできる反復学習
- ・答えだけでなく、課題解決までの過程や、仲間の考えから学ぶ機会を大切にした授業

(2) 多様でリアルな学びの充実

- ・話し合い、説明、発表などの場面を取り入れる授業や活動
- ・多様な人とのかかわり、体験、追求を取り入れた活動

(3) 家庭学習の充実

- ・家庭学習が生きる授業づくり
- ・家庭学習評価を行い、ご家庭との連携の中で、より充実した内容、方法への改善



表現の練り上げ場面:3年生(音楽)



クエスト成果発表会

【心・徳育】

- ・小規模校のよさを生かし、個のニーズに添い、生徒の自治的・自主的な活動を支援してまいりました。多くの行事や学年、校種をこえた縦割り班活動、地域との体験活動を通して、「頑張りが認められる」「達成する喜びを感じる」等〈項目⑩〉を高めることができたと考えています。
- ・「どんな理由があっても、いじめや差別を許さないと考えている」は肯定的評価が100%を指すべき項目〈項目⑦〉であると考えています。今後も、道徳教育、部落問題学習を中核とした人権教育、同和教育の更なる充実を図るとともに、自他を尊重し、多様な考えが受け入れられる、安心・安全な学校づくり、集団づくりに全力で取り組んでまいります。



【体・体育】

- ・(1)メディアとの付き合い方やルール、食と健康について考える「小中合同親子健康学習会」(2)家庭と連携した強調週間(3)委員会活動等、生徒発信での食や健康に関する実践(4)全校で運動に親しむ保健体育の合同授業等の取組を行ってきました。引き続き大人からの働き掛けに加え、生徒自身が問題提起したり、自己を振り返ったりする機会を設定し、よりよい生活習慣への意識付けを行う必要があると考えます。〈項目⑨・⑩〉



メディアの使い方を見直して、よりよい生活習慣をつくっていききたい。



メディアと食、どのように付き合っていくことが大切かな



【自由記述に関する回答（一部）】

○(一年生の)子どもたちが前向きに学校生活に集中するには、(統合問題に関わって)あまりにも変化の大きな9ヶ月でした。その中で、体育祭や玲瓏祭、親子活動などで子どもたちが過ごす様子、そこで見られる笑顔に安心してきました。

北条中学校は小中一貫のモデルだと言われて今の場所に移転してきたと記憶しています。小中学校の関わりが、統合を前にして薄れることのないよう、今年度も来年度も、たくさんの活動をともしてほしいと思います。

→(回答)ご心配をおかけして、心苦しく思っておるところです。そんな中でも前向きに学校生活を送ってくれた生徒、バックアップしてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。小学校との連携は、生徒の情操や年長者としての成長促進など、効果を感じています。今後も充実した小中連携の取組を継続したいと考えております。保護者の皆様、ご協力お願いいたします。

○先生が毎朝校門で迎えてくださったり、子供達が玄関で迎えてくれたりする姿、とても嬉しいです。

→(回答)風紀委員会や応援団の生徒の取組をお褒めいただき、ありがとうございます。お声を生徒に届けるとともに、今後も生徒の自主的な活動を支えていきたいと思っております。

保護者の皆様からの貴重なご意見や温かい励ましのお言葉は、今後の学校運営に向けての力となっております。ありがとうございました。皆様からのご意見のもと、改善に努めてまいります。今後も生徒一人一人を大切にして、各種教育活動をすすめてまいりますので、よろしくお願いいたします。